

創造・誇り・愛！ 輝く七中 ^{きら}煌めけ生徒！！



とちのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103

立川市立立川第七中学校

校長 水越 伸朗

学校だより

第4号

令和5年7月20日



七中 HP URL

三年先の稽古

校長 水越 伸朗

72日間の1学期が終わります。1学期最大に学校行事である運動会はもとより、委員会・係活動、部活動、そして授業にも真剣に取り組む七中生の姿をたくさん見ることができました。また、1年生は農業体験、2年生は校外学習、3年生は修学旅行と、2学期に行われる行事に向けての活動も始まり、事前学習や係活動に取り組んでいます。それぞれの行事にねらいがあり、行事を通して様々なことを学び、成長してほしいと願っています。1学期の経験を生かして、素晴らしい行事にしてほしいと思います。

このように、子どもたちが充実した学校生活を送れるのも、ご家庭においてお子様を励まし、応援していただいているからだと思います。また、運動会や学校公開のアンケートからも、ご意見や多くの励ましの言葉をいただいております。日頃からの、保護者の皆様のご支援、ご理解に感謝いたします。

明日からは夏休みとなります。ご家庭で過ごす時間が長くなります。中学校卒業後の進路をはじめ、将来の夢、職業等について、お子様と話していただくと、2学期以降の学校生活への意欲も高まると思います。七中生全員が、有意義な夏休みを過ごすことを願っています。

さて、本日の終業式では、大相撲の世界に伝わる「三年先の稽古」について話しました。その一部を紹介します。

～終業式講話より抜粋～

さて、今日は皆さんに、「三年先の稽古」というお話をします。

今ちょうど、大相撲名古屋場所が開催されています。その、日本の国技である大相撲の世界には「三年先の稽古」という言葉があります。この言葉には、「相撲の本当の実力は1、2か月の短期間でつくものではない。じっくりと腰を据えて、三年先に結果が出せるよう毎日の稽古に励みなさい。」という意味があります。

今はそれほどでもありませんが、昔は中学校を卒業して相撲界に入る力士がたくさんいました。皆さんとそれほど年が違わない時から、力士として稽古に励んだのです。相撲の稽古は、それはそれは激しいものだそうです。親方や先輩の力士による稽古は厳しく、へとへとになってしまいます。しかし、そんな時、「今は苦しくても、しっかりと稽古していれば、三年先に結果が出る」と励まされたそうです。また、相撲の基本となる四股やすり足の稽古を地道に行いなさい。そして一生懸命に稽古してしっかり食べて体を鍛えなさい。という意味も含まれているそうです。

この「三年先の稽古」という言葉は、まさに皆さんにもあてはまると思います。今、中学校生活で学んでいることが三年先あるいは五年先、そして将来大人になった時にきっと役に立つのです。学習はもちろん委員会・係活動、部活動等、今行っていることが「三年先の稽古」となるよう、一生懸命、確実に中学校生活を送ってほしいと思います。